

塩田まちづくり
事業

中野前池からの落日

野倉の延命地蔵菩薩
(赤地蔵様)

信州上田

別所温泉の岳の懺

塩野池の松明による百八手

塩田平

SHINSHU UEDA SHIODADAIRA

ため池群ガイドマップ

塩田平のため池を愛する会

塩田平のため池群

塩田平のため池の歴史

塩田平は江戸時代に塩田3万石といわれ、上田藩の穀倉地帯でした。

しかし、この地域は過去30年間平均年降水量が約890mmで全国年平均降水量の半分程度です。また、周辺の山々の標高は1,250m前後と低く、主な川は産川、尾根川、湯川ですが、山域も浅く、流水が乏しい状況で、塩田平の水田は水不足に苦しめられていました。このため戦国時代末から江戸時代に、少ない川の水を有効にたくわえ利用する方法として、多くのため池が築造され、改築や大きな修繕も行われました。

これらのため池は全盛期には共有・私有を含め、全部で200箇所(上田市誌)を超えていました。現在、塩田平土地改良区の「ため池施設台帳」には、41箇所の池が登録され、塩田平の約900haの水田を潤しています。

7 浅間池 あさまいけ

G-3



所在地 ▶ 下之郷
築造年 ▶ 1711年/江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 41,340m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩15分

東塩田

8 居守沢大池 いもりざわおおいけ

G-3



所在地 ▶ 下組
築造年 ▶ 1630年/江戸時代前期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 2,900m³
● 上田電鉄別所線 下之郷駅から徒歩30分
◆ 見所 ▶ “マダラヤンマ”生息地

東塩田

10 下之郷新池 しものごうしんいけ

F-3



所在地 ▶ 下之郷
築造年 ▶ 1642年/江戸時代前期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 74,000m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩15分

東塩田

11 清水池 しみずいけ

F-4



所在地 ▶ 石神
築造年 ▶ 1818年/江戸時代後期(松平氏代)
貯水量 ▶ 6,290m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩30分

東塩田

1 夫婦池 めおといけ

F-2



所在地 ▶ 下之郷
築造年 ▶ 1611年/江戸時代初期(真田氏代)
貯水量 ▶ 5,090m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩15分

東塩田

5 宮原上池 みやはらかみいけ

F-2



所在地 ▶ 下之郷
築造年 ▶ 1711年/江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 990m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩20分

東塩田

13 北ノ入池 きたのいりいけ G-4



所在地 ▶ 中組
築造年 ▶ 1663年 / 江戸時代前期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 266,000m³ (1935年まで塩田最大)
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩45分



16 来光寺池 らいこうじいけ F-4



所在地 ▶ 鈴子
築造年 ▶ 1623年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 231,000m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩30分



14 砂原池 すなはらいいけ G-5



所在地 ▶ 奈良尾
築造年 ▶ 1715年 / 江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 44,000m³
● 上田談鉄別所線…下之郷駅から徒歩45分
◆ 見所 ▶ “マダラヤンマ”の生息池



17 手洗池 てあらいいけ E-4



所在地 ▶ 柳沢
築造年 ▶ 1655年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 91,000m³
● 上田電鉄別所線…塩田町駅から徒歩20分
◆ “池の築造”に関わる由来あり



15 水沢池 みずざわいけ G-4



所在地 ▶ 中組
築造年 ▶ 1648年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 31,770m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩35分



18 平井寺池 ひらいじいけ F-5



所在地 ▶ 平井寺
築造年 ▶ 1949年 / 昭和24年
貯水量 ▶ 4,900m³
● 上田電鉄別所線…下之郷駅から徒歩60分



19 倉保根池 くらほねいけ E-1・2



所在地 ▶ 下本郷
築造年 ▶ 1644年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 7,100m³
● 上田電鉄別所線…神畑駅から徒歩10分



20 上原池 うえはらいいけ E-2



所在地 ▶ 下本郷
築造年 ▶ 1638年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 46,300m³
● 上田電鉄別所線…大学前駅から徒歩10分



21 小島大池 こじまおおいけ E-2



所在地 ▶ 上小島
築造年 ▶ 1618年 / 江戸時代初期(真田氏代)
貯水量 ▶ 102,000m³
● 上田電鉄別所線…大学前駅から徒歩15分 ◆ “猪と鉄砲”の民話あり



25 男池 おとこいけ E-3



所在地 ▶ 五加
築造年 ▶ 1644年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 49,500m³
● 上田談鉄別所線…中塩田駅から徒歩5分



22 加古池 かこいけ D-2



所在地 ▶ 保野
築造年 ▶ 1704年 / 江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 5,800m³
● 上田電鉄別所線…塩田町駅から徒歩25分 ◆ “蓮の花”が見所



26 五加前池 ごかまえいけ E-3



所在地 ▶ 五加
築造年 ▶ 1623年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 44,800m³
● 上田電鉄別所線…中塩田駅から徒歩10分



23 塩吹池 しおふきいけ D-2



所在地 ▶ 保野
築造年 ▶ 1704年 / 江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 115,000m³
● 上田電鉄別所線…塩田町駅から徒歩25分
◆ “桜”と“池の大修理”の由来あり



27 共有池 ともいけ D-3



所在地 ▶ 舞田
築造年 ▶ 1623年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 28,000m³
● 上田電鉄別所線…舞田駅から徒歩15分
◆ 渡り鳥“白鳥”の休息池



24 女池 おんないけ E-3



所在地 ▶ 五加
築造年 ▶ 1650年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 18,000m³
● 上田談鉄別所線…中塩田駅から徒歩5分



28 上平池 うわだいらいけ C-3



所在地 ▶ 舞田
築造年 ▶ 1623年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 25,200m³
● 上田電鉄別所線…舞田駅から徒歩5分



29 中野前池 なかのまえいけ D-3



所在地 ▶ 中野
築造年 ▶ 1630年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 39,700m³



30 甲田池 こうだいけ D-3



所在地 ▶ 十人
築造年 ▶ 1641年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 94,000m³
● 上田電鉄別所線…中野駅から徒歩10分 ◆ “河童”の民話あり



31 上窪池 かみくぼいけ E-3・4



所在地 ▶ 上本郷
築造年 ▶ 1646年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 25,100m³
● 上田電鉄別所線…塩田町駅から徒歩15分 ◆ “塩田鯉”養殖の発祥地



32 荒池 あらいけ D-4



所在地 ▶ 十人
築造年 ▶ 1782年 / 江戸時代中期(松平氏代)
貯水量 ▶ 18,700m³
● 上田電鉄別所線…中野駅から徒歩15分



33 塩野池 しおのいけ D-5



所在地 ▶ 西前山
築造年 ▶ 1704年 / 江戸時代中期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 34,100m³
● 上田電鉄別所線…塩田町駅から徒歩45分



34 沢山池 さやまいけ B-5・6



所在地 ▶ 野倉
築造年 ▶ 1938年 / 昭和13年 貯水量 ▶ 1,082,000m³
● 上田電鉄別所線…舞田駅から徒歩45分
◆ “水源地ダム湖”塩田平の最大ため池



35 山田池 やまだいけ C-4



所在地 ▶ 山田・八木沢
築造年 ▶ 1615年 / 江戸時代初期(真田氏代)
貯水量 ▶ 266,700m³
● 上田電鉄別所線…八木沢駅から徒歩10分
◆ “堤の高さ1尺下げ”の築造由来あり



37 舌喰池 したくいけ C-4



所在地 ▶ 手塚
築造年 ▶ 1622年 / 江戸時代初期(仙石氏代)
貯水量 ▶ 137,900m³
● 上田電鉄別所線…八木沢駅から徒歩20分
◆ 池の築造に“人柱”の民話あり



38 不動池 ふどういけ

C-4

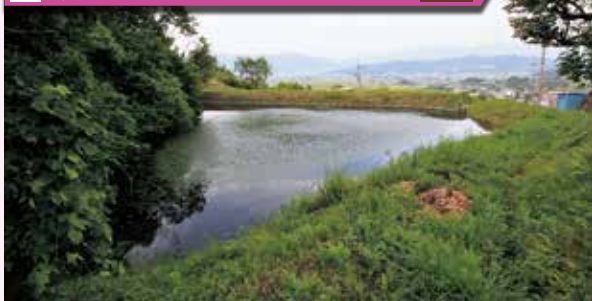


所在地 ▶ 手塚
 築造年 ▶ 1829年/江戸時代末期(松平氏代)
 貯水量 ▶ 14,200m³
 ● 上田電鉄別所線…八木沢駅から徒歩30分



39 龍王下池 リョウオウしたいけ

C-4



所在地 ▶ 手塚
 築造年 ▶ 1709年/江戸時代中期(松平氏代)
 貯水量 ▶ 2,670m³
 ● 上田電鉄別所線…八木沢駅から徒歩35分
 ◆ “水源”に湧水あり



41 幕宮池 まくみやいけ

B-3



所在地 ▶ 別所温泉
 築造年 ▶ 1716年/江戸時代中期(松平氏代)
 貯水量 ▶ 60,300m³
 ● 上田電鉄別所線…別所温泉駅から徒歩10分
 ◆ “沢”をせき止めた“ダム湖”に湯川からも取水する。



※築造年について

塩田には、古代から小さなため池がたくさんあったといわれています。

江戸時代になって、増改築に合わせて新築も行われ、ほぼ現代の池になりました。その時の記録により、これを築造年として記述しました。

写真撮影 ▶ 矢幡 正夫 氏

説明文編集 ▶ 塩田平文化財研究所

▶ 塩田平文化財保護協会



雨ごい行事・伝承

この地域は年間平均降水量が890mmと全国平均降水量の半分程度です。また山域も浅いので川水も少なく、一旦干ばつになると稲作を中心に大変な被害が発生しました。

昔から豊かな雨に恵まれますように、干ばつの時は早く解消するようにと、神や仏にお願いしました。塩田平にある雨ごい行事やこれに関連する伝承等の主なものを紹介します。

現在まで毎年行われている雨ごい行事

「^{おがみだけ}夫神岳及び別所温泉での雨ごい祭(岳の幟)」

7月15日(現在はそれに近い日曜日)に別所温泉で行われる雨ごい行事。早朝から夫神岳に登り、山頂にある九頭竜権現に、4m位の竹竿の先に笹の付いた青竹をくり付け、龍の形に似せた反物2反(現在は1反)を付けて幟にしたものを数十本奉納し雨ごい祈願を行う。その後、幟をもって麓に下り、「三頭獅子」「ささら踊り子」と合流して温泉街で、三頭獅子舞い・ささら踊りを披露し、最後に別所の産土神である別所神社に幟及び三頭獅子舞い・ささら踊りを奉納する。500年以上続く伝統行事で国選択無形文化財に指定されている。長野冬季五輪閉会式にも参加した。

「^{らいじん}雷神様のお祭り」 下之郷新田の唐臼山に鎮座する雷神祠に毎年八十八夜に近い休日に「雨ごい」と「避雷」の祈願を行っている。

仏像等に祈願する雨ごい

「^{えどう}五加の^{じぞうぼさつ}絵堂の地蔵菩薩」 江戸時代の大干ばつ時に、下之郷にあった石造の地蔵尊を絵堂川に運び、水浸けにして雨の恵みを祈願したところ、絵堂川を境にした五加側だけ大雨が降り、下之郷側には少しの雨しか降らなかったため、下之郷の衆は、地蔵尊

をそのまま放置した。御利益があった五加の衆は川から引き揚げ五加側へ遷し手厚くお祀りし現在に至る。

【野倉の延命地藏菩薩(赤地藏様)】 野倉はたびたび干ばつに遭い、神仏に祈ったりしてもなかなか雨が降らないときは、最後の手段として木造朱塗りの延命地藏尊を川へ投げ込み雨が降るまで引き上げないでいると必ず雨が降ったと伝えられている。野倉地区中心の四つ辻角の石室に祀られる。

【柳沢の鉄焼地藏菩薩】 大正13年の大干ばつの時に、石造の鉄焼地藏尊を紐で背負い、手洗池へ運び池に沈めて雨ごい祈願したと伝わる。

【下小島の延命地藏菩薩】 大正13年の大干ばつの時は、延命地藏尊に昼夜交替で鐘をたたき「南無地藏大菩薩雨ふらせ給へな」と祈願したと伝えられている。

【奈良尾の大姥様】 江戸時代の大干ばつ時に村民が富士嶽山への山道の途中にあるこの大姥様に雨ごい祈願したと記録にある。寛正7年(1466)の銘あり。

【鈴子の大姥様】 江戸時代から干ばつに悩んだ村民がこの石像を来光寺池の土手に担ぎ出し雨ごいをした。

大正13年の大干ばつ時が最後だとされている。

寺社等による雨ごい祈願

【富士嶽での雨ごい】 富士嶽神社の山宮(奥社)は、「雨ごい」の行事を行う社として上田藩の崇敬の社であった。干ばつの時は領主の命にて、塩田組の領民はこの社に登り、千駄焚きを行い雨が降ることを祈願した、これを「千駄焚き雨ごい」と呼んだ。

【龍王山での雨ごい】 大正13年の大干ばつ時には中禅寺の山号である「龍王山」(独鈷山の支峰)(龍王は雨の神)に登り、中禅寺の寺宝の入った長持までも持ち上げ、住職の祭事により雨ごい祈願をした。また、水鉢に藁製の竜(水竜さま)を浮かべ祈願もした。少し北側にある隣峰「喜び岩」で「千駄焚き」を行った。雨が降るまで山を下りずに祈願したと伝わる。

【弘法山での雨ごい】 干ばつ時には山頂にある雨ごい堂へ村民が交替で登り、終日休みなしで「南無弘法、南無大師、雨ふらせたんまいな」と鉦をたたきながら唱え続けて祈願したと伝わる。

【前山寺での雨ごい】 干ばつ時に村人は大きな松

明に火をつけ「雨降らせたんまいな」と唱えながら池のまわりを回った。これに合わせ前山寺の住職が堂内で藁製の「水竜様」の入った大きな水鉢に水を注ぎ、雨ごいの経を上げると、とぐろを巻いていた「水竜様」が動きだし、一天にわかには掻き曇り雨となり田畑を潤したと伝えられている。現在も干ばつ時には行われる。

【安曾神社での雨ごい】 大正11年の大干ばつの時は、諏訪神社より御神水を受け安曾神社で石神、鈴子、柳沢地区全戸参加し十七日間雨ごい祈願した。大正13年の大干ばつ時には戸隠神社より御神水を貰い受け安曾神社で祈願を行っている。

【保野塩野神社での雨ごい】 大正13年の大干ばつ時に保野地区では諏訪神社に「御神水」を貰い受けに行き塩野神社で雨ごい祈願を行う。

【塩野入神社での雨ごい】 大正13年の大干ばつ時に舞田地区は「不動尊の石仏」脇の御神水を塩野入神社に奉納し、その水を上平池にお供えし松明を燃やして祈願した。

【武高国神社での雨ごい】 上本郷地区では武高国神社で雨ごい祈願の後、甲田池で千駄焚きを行う。

千駄焚き及び松明による百八手

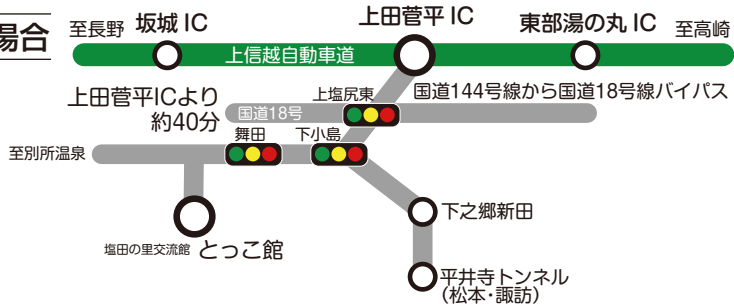
大正13年の大干ばつ時には柳沢では手洗池の堤において、「百八炬」を行った。石神、鈴子、平井寺地区は来光寺池で「千駄焚き」を全戸参加して行った。舞田、中野、八木沢地区では「松明」「千駄焚き」を行い、「雨降らせたんまいな」と池の堤頭で大声で祈願。別所地区では幕宮池の堤頭で麦わら等を各戸が持ち寄り「千駄焚き」と各地区に記録がある。昭和以降の干ばつ時には度々、塩田の各池で「千駄焚き」「百八手」を行った記録がある。

戸隠講

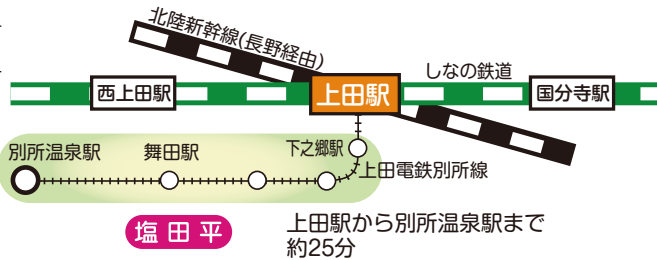
戸隠大神は水の神・農耕の神として信仰されている、昔は各地区に戸隠講と呼ばれる組織があった。下小島地区では年に一度、戸隠の宝光社に宿泊し戸隠神社奥社と九頭竜社(水を司る神社)に参拝する。別所温泉地区でも、年に一度、戸隠奥社と九頭竜社に水利組合役員が参拝する。大干ばつ時には九頭竜社の御神水を貰い受け「竹の水筒」に入れて運び「種水」にして祈願したと伝わる。

信州の鎌倉 塩田平 交通のご案内

車ご利用の場合



電車ご利用の場合



■お問い合わせ先

塩田平のため池を愛する会 塩田の里交流館 (愛称とっこ館)内

〒386-1433

長野県上田市手塚792 TEL 0268(39)7250 FAX 0268(39)7251

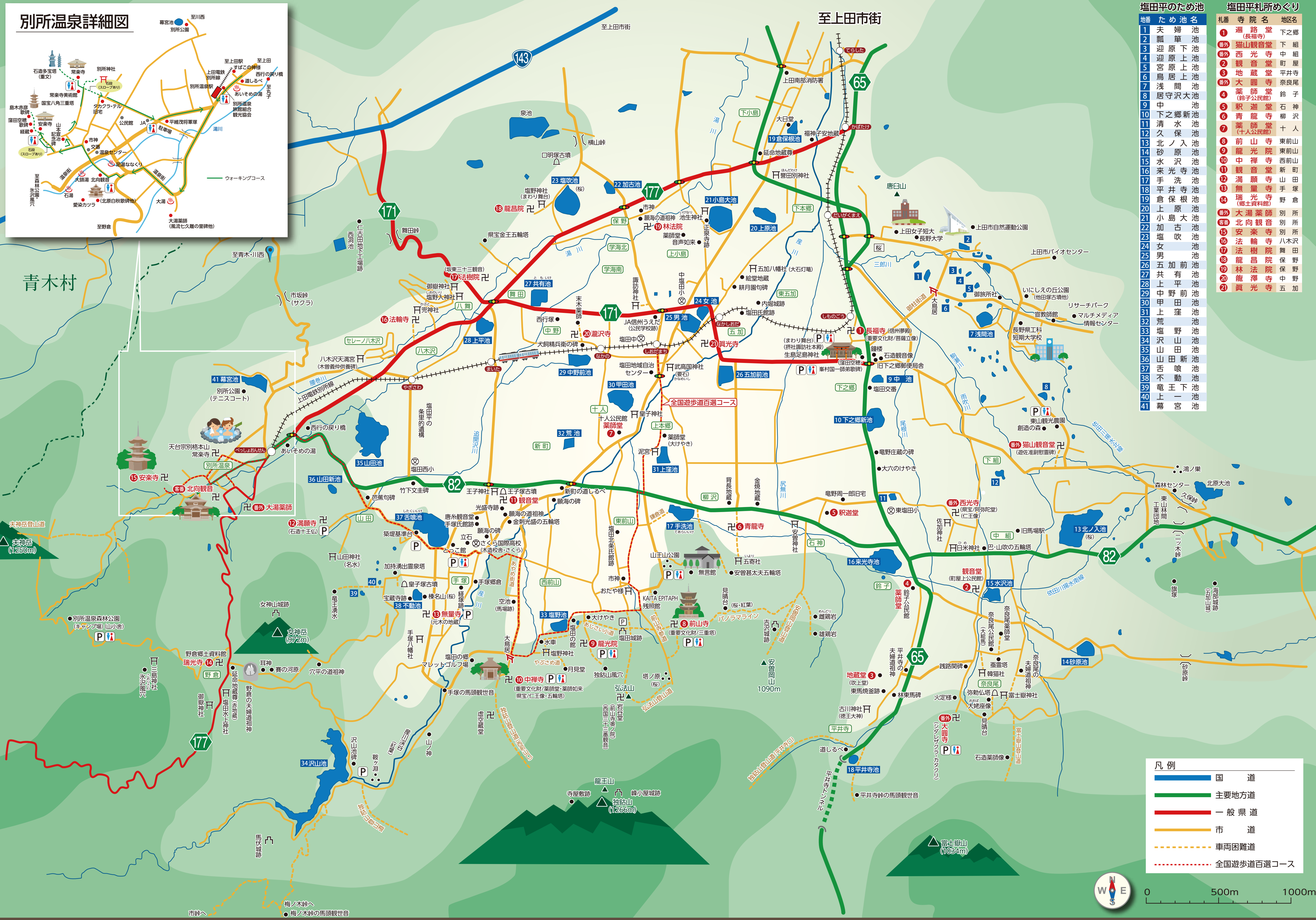
●E-mail: info@shiodanosato.jp

●URL: http://www.shiodanosato.jp/

別所温泉詳細図



青木村



地番	ため池名	札番	寺名	地区名
1	夫婦池	1	遍路堂 (長福寺)	下之郷
2	瓢箪池	2	猫山観音堂	下組
3	迎原下池	3	西光寺	中組
4	宮原上池	4	観音堂	町屋
5	鳥居上池	5	地藏堂	平井寺
6	浅間池	6	大園寺	奈良尾
7	居守沢大池	7	薬師堂 (鈴子公民館)	鈴子
8	中ノ入池	8	釈迦堂	石神
9	下之郷新池	9	青龍寺	柳沢
10	清水池	10	薬師堂 (十人公民館)	十人
11	久保池	11	前山寺	東前山
12	北ノ入池	12	龍光院	東前山
13	砂原池	13	中野寺	西前山
14	水光寺池	14	観音堂	新町
15	来光寺池	15	満願寺	山田
16	手洗池	16	無量寺	手塚
17	平井寺池	17	瑞光寺	野倉
18	倉保根池	18	大湯薬師	別所
19	上原池	19	北向観音	別所
20	小島大池	20	安楽寺	別所
21	加古池	21	法輪寺	八木沢
22	塩吹池	22	法樹院	舞田
23	塩吹池	23	龍昌院	舞田
24	塩吹池	24	法樹院	舞田
25	男加池	25	龍昌院	舞田
26	共有池	26	林法院	舞田
27	共有池	27	龍昌院	舞田
28	共有池	28	龍昌院	舞田
29	共有池	29	龍昌院	舞田
30	共有池	30	龍昌院	舞田
31	共有池	31	龍昌院	舞田
32	共有池	32	龍昌院	舞田
33	共有池	33	龍昌院	舞田
34	共有池	34	龍昌院	舞田
35	共有池	35	龍昌院	舞田
36	共有池	36	龍昌院	舞田
37	共有池	37	龍昌院	舞田
38	共有池	38	龍昌院	舞田
39	共有池	39	龍昌院	舞田
40	共有池	40	龍昌院	舞田
41	共有池	41	龍昌院	舞田
42	共有池	42	龍昌院	舞田
43	共有池	43	龍昌院	舞田
44	共有池	44	龍昌院	舞田
45	共有池	45	龍昌院	舞田

凡例	
	国道
	主要地方道
	一般県道
	市道
	車両困難道
	全国遊歩道百選コース

